

平成22（2010）年度



明浜小学校の教育活動

学校目標 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・進んでやる子

子どもにとって：学校生活のめあて 教職員にとって：目指す子ども像

☆教育方針・努力点

- ・自ら学び、考え、正しく判断し、思いやりと責任ある行動がとれる「あけはまの子」の育成に努める。
- ・心身ともに健やかで、たくましく生きる「あけはまの子」の育成に努める。

① 楽しくわかる授業の創造

- ・主体的な学び、体験を重視した課題解決的学習の推進
- ・学ぶ楽しさが体得できるような教材・教具の整備・充実およびその工夫・開発
- ・目標を明確にし、目標に準拠した適切な評価の工夫と授業改善への活用
- ・指導体制、指導方法の工夫・改善
- ・地域の教育力の効果的な活用

本校では、現在、パソコンなど情報機器を活用して、基礎基本の定着を図ったり学習意欲を高めたりする授業づくりを研究しています。

② 生命や人権を尊重する子どもの育成

- ・集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする意欲や態度の育成
- ・多様な文化や価値観をもつ人々との交流などに取り組み、自分を大切に、他者を尊重する態度を育む指導の充実

③ 保護者・地域と連携した安全な学校づくり

- ・登下校を含めた子どもの見守りと安全指導の充実
- ・校地・施設の整備充実と校内緑化・美化の推進

④ 内外に開かれた学校づくり

- ・職員一人一人が役割を意識し、よさを発揮した組織的な体制の確立
- ・授業参観・懇談会、PTA活動、地域行事等を活用した保護者・地域との連携
- ・学校評価を活用した学校運営の改善

⑤ 実践的な指導力を高めるための研究・研修の充実を図る。

- ・本校の課題を把握・分析しながらの校内研究・研修の推進と充実
- ・他校・研究会で得られた成果等の共有化と教育実践への反映

☆児童数・学級数

職員数：54名

4月5日現在

1年	2年	3年	4年	5年	6年	かもめ	合計
139	141	155	146	138	155	3	877名
4	4	5	4	4	5	2	28学級

(ことばの教室通級児童数 45名)

☆明浜小のあゆみ

明浜の名は小字で平安時代からの地名

- 昭和 35 (1960)年 4月1日開校 34年に久里浜小学校が、児童数2960名になり分離独立
 児童数1186名 27学級 創立記念日は11月11日
 最初の施設は、木造2階建て1棟 平屋1棟 給食室
- 40 (1965)年 創立5周年 校歌制定
 45 (1970)年 創立10周年 校旗新調
 47 (1972)年 児童数最多の1407名になる(翌年 栗田小学校開校)
 54 (1979)年 神明小学校開校
 55 (1980)年 創立20周年 校歌制定
 60 (1985)年 中庭に循環型の小川完成
 61 (1986)年 「ことばの教室」として、難聴・言語障害児学級開設
- 平成 5 (1993)年 「ことばの教室」が通級制となる アスレチック完成
 17 (2005)年 校舎耐震補強工事 アスレチック改修
 18 (2006)年 ブランコ シーソー新設
 22 (2010)年 創立50周年

☆今年度の主な教育活動・・・懇談会の時に配布しました別紙(年間行事予定)をご参照ください。

☆本校の特色ある教育活動

たてわり班活動

最近の少子化に伴い、子どもたちは、異年齢でのふれあいを通して、様々な人間関係を学ぶ機会が少なくなりました。

最初のページでお伝えしたこととも関連しますが、1年生から6年生までの児童が、一緒に活動する機会を設け、高学年は、リーダーシップや優しさを身につけ、低学年は、身近なお手本を通して、社会性を身につける機会として、たてわり活動を実施しています。

1年間に5回行います。毎年、メンバー内の自己紹介を兼ねた室内遊びから始まり、体全体を使ったボール遊びや、スライムづくり、ジャンボシャボン玉遊びなど回を重ねる度に、ダイナミックな遊びへと、各グループ毎に工夫され、膨らんでいきます。

最終回は、給食もたてわり班で食べる予定です。

本校では、職員だけでなく、地域やPTAの皆様のご協力をいただくことにより、子どもたちの安全を守っていただいています。

- * 『教職員』による登下校時パトロール
- * 『子ども見守りたい』学校内外パトロールと下校時のパトロール
- * 『PTA役員・委員さん』による長期休業後の登校時パトロールと校内パトロール(ゴミ拾いの清掃もしてくださっています。)
- * 『自衛隊の皆様』によるジョギングしながらのパトロール

近年、痛ましい事故や事件に子どもたちが巻き込まれることも少なくない状況にあります。しかし、現在のところ、幸いにも心配なことが起きていません。これら定期的なパトロールが抑止力としての役割を果たしていると思われまます。更に、緊急の際に、臨機応変に対応してくださる皆様のお陰と感謝しております。

児童・生徒の安全確保に努めます

一人一人に応じたよりきめ細かな指導

面談週間の設定

小学校6年間における心身の成長には、めざましいものがあります。一人一人の成長ができるだけ順調に、よりよい方向に伸びていくよう指導し見守っていきたいと考えています。

しかし、特に高学年になると、友だち関係や、自分自身の学習のことや今後のことなど、様々なことについて悩んだり迷ったりすることが多くなると考えられます。悩むこと迷うことは決して悪いことではありませんが、一人で抱え込んでしまうことも考えられ、その状況を、把握した上で、適切に指導・助言することが必要であると考えました。

そこで、今年度、4年以上の学年は、夏休み明けの9月の2週間を「面談週間」として、こども一人一人と放課後話す時間を設定することにしました。この中で、少しでも、その時思っていること考えていることを捉え、その後の指導に生かしていきたいと考えています。

現在全国的には小・中学校の1学級の児童・生徒の数は40人が基準となって編制されています。しかし、学年の児童数や状況から判断し、特例として、1学級30人前後で学級編制を行える制度があり、本校は、2学年でその制度を適用しています。3年生、6年生がそれにあたります。

この2学年は、児童数が155名で、本来ですと1学級39名の4学級編制となりますが、できるだけ、一人一人の児童に対応した指導を展開できるように、1学級31名の5学級編制としました。

少人数学級による指導

通常学級において、学習の内容によって、1対1の個別指導を行う方が有効であると思われる児童について、教師と保護者が相談し、児童本人の納得の上で、学習を進めています。

また、特別支援部を中心にケース会を行い、必要に応じてティームティーチングによる支援教育も実施しています。

特別支援教育

体力づくり活動

体力の低下が叫ばれて久しくなりますが、本校では、日常生活においても、適切な体育・健康に関わる活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で、活力のある生活を送るための基礎を培いたいと考えています。

そこで、体育の授業だけでなく、休み時間や朝の時間を活用して子どもたちの体力を増進させる活動に取り組んでいます。それが『GENKIタイム』です。今年も、自由参加形式の相撲大会や鬼ごっこ、低学年・高学年に分かれての明小体操や大縄大会など、体育委員会を中心に企画してくれる予定です。

～手をつなごう 心をつなごう PTA～

・子どもインターンシップ

商店等での業務体験を通して、仕事の内容を理解し、働くことの大切さを学びます。

PTA主催で、久里浜商店会のご協力により、6年生の希望者を対象に実施されます。小学生のうちから、労働観（様々な仕事内容を理解し労働の大切さを考える）や勤労観（働くことを通して自分の生き方を考える）の基礎を学ぶことは、生涯設計の上でも、とても大切なことです。

今年度は、9月に実施予定です。

・はっPまつり

子どもと保護者、地域の皆様との心のふれ合いを目的に、みんなが楽しく1日を過ごす毎年恒例の行事です。今年度は、50周年を記念してのまつりとして、5月15日に実施いたします。詳しくは、後日お知らせいたします。

この他にも、『おやじの会』の奉仕活動もあり、PTA活動によって、子どもの安全や健全育成が図られ、学校が支えられているのです。

多様なPTA活動